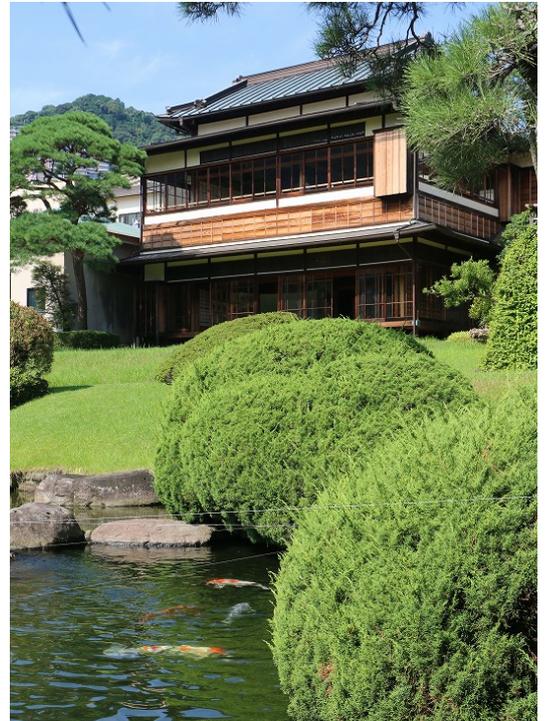


市文化財「起雲閣」7・8月期最多入館者数を記録

～主な要因はテレビドラマの撮影の影響～

熱海市指定有形文化財である「起雲閣」（熱海市所有、NPO 法人オアシス 21 指定管理受託）の月間有料入館者数が、7月期 6,469 人、8月期 8,486 人と、7月期・8月期としては平成 12 年 11 月の開館以来歴代 1 位の月間有料入館者数となりました。

起雲閣の 7 月期・8 月期の入館者数が開館以来過去最多人数を記録した主な要因は、現在放送されている NHK 連続テレビ「花子とアン」において、仲間由紀恵さん演じる嘉納蓮子が九州の石炭王 嘉納伝助に嫁いだ際の嘉納家の外観風景として撮影されるなど、各局のテレビドラマの舞台として広く認知されたためです。



■ 「起雲閣」月間有料入館者数

	月間有料入館者数	対前年比	これまでの最多月間有料入館者数
平成 26 年 7 月	6,469 人	1,335 人増 (26.0%増)	平成 18 年 7 月の 5,849 人
平成 26 年 8 月	8,486 人	1,980 人増 (30.4%増)	平成 23 年 8 月の 7,128 人

■ 「起雲閣」とは

起雲閣は「熱海の三大別荘」と賞賛された名邸を基とし、1947（昭和 22）年に旅館として生まれ変わり、熱海を代表する宿として数多くの宿泊客を迎え、山本有三、志賀直哉、谷崎潤一郎、太宰治、舟橋聖一、武田泰淳など、日本を代表する文豪たちにも愛されました。市街地とは思えない緑豊かな庭園。日本家屋の美しさをとどめる本館（和館）と離れ。日本、中国、欧州などの装飾や様式を融合させた独特の雰囲気を持つ洋館が魅力的な建物です。2000（平成 12）年より、熱海市の所有となり、2002（平成 14）年には、熱海市指定有形文化財となりました。2012（平成 24）年には、開館以来の入館者数が、100 万人を突破し、多くのお客様に愛される施設となっています。

また、最近では日本庭園をはじめ、玉姫の間（たまひめのま）に併設されたステンドグラスを誇るサンルームなどにおいて、テレビドラマや雑誌などの、撮影場所としてもご利用いただいています。

（参考資料）

この秋、起雲閣、MOA 美術館、熱海梅園など、熱海市内が芸術・食・音楽などのアートで染まる“あたま湯ったりアートフェスティバ 2014”（会期：2014 年 9 月 13 日（土）～12 月 24 日（水））が開催されます。

詳しくは、あたま湯たりアートフェスティバル HP をご覧ください。 →→→ <http://yuttari-art.net>

＜この件に関するお問い合わせ＞

熱海市生涯学習課 文化施設室 担当：相磯・小林

Eメール：bunkashisetsu@city.atami.shizuoka.jp

TEL:0557-86-6232/FAX:0557-86-6606